

新青丸研究航海報告

東京大学大気海洋研究所

- * 航海番号 KS-20-14次研究航海
- * 航海名称 巨大津波を引き起こす大規模アウターライズ地震断層の実態解明
Tsunamigenic normal faults generating large outer-rise earthquake
in the Japan Trench margin
- * 観測海域 三陸沖日本海溝周辺
Japan Trench margin off Sanriku of northeast Japan
- * 航海期間 令和2年9月9日（水）～令和2年9月18日（金）
- * 出港日時・場所 9月9日 14時 横須賀港
- * 入港日時・場所 9月18日 10時 横須賀港
- * 寄港期間・場所 なし
- * 研究課題 巨大津波を引き起こす大規模アウターライズ地震断層の実態解明
- * 主席研究員（氏名・所属・職名）
朴進午・東京大学大気海洋研究所・准教授
- * 研究内容, 主調査者, 観測項目
 1. 反射法地震探査による海底下地殻構造に関する研究、朴進午
 2. サブボトムプロファイラーによる海底堆積層に関する研究、藤江剛
 3. マルチビーム音響測深機による精密海底地形に関する研究、羽入朋子

* 乗船研究者氏名・所属・職名

朴 進午・東京大学大気海洋研究所・准教授

Jamali Hondori Ehsan・東京大学大気海洋研究所・特任研究員

大熊 祐一・東京大学大気海洋研究所・大学院学生

孫 岳・東京大学大気海洋研究所・大学院学生

周 錦焜・東京大学大気海洋研究所・大学院学生

于 凡・東京大学大気海洋研究所・大学院学生

藤江 剛・海洋研究開発機構・海域地震火山部門・グループリーダー

古山 精史朗・東京海洋大学・海洋資源環境学部・助教

小川 真由・東京海洋大学・海洋資源環境学部・大学院学生

高中 一希・東京海洋大学・海洋資源環境学部・大学院学生

羽入 朋子・神戸大学海洋底探査センター・研究機関研究員

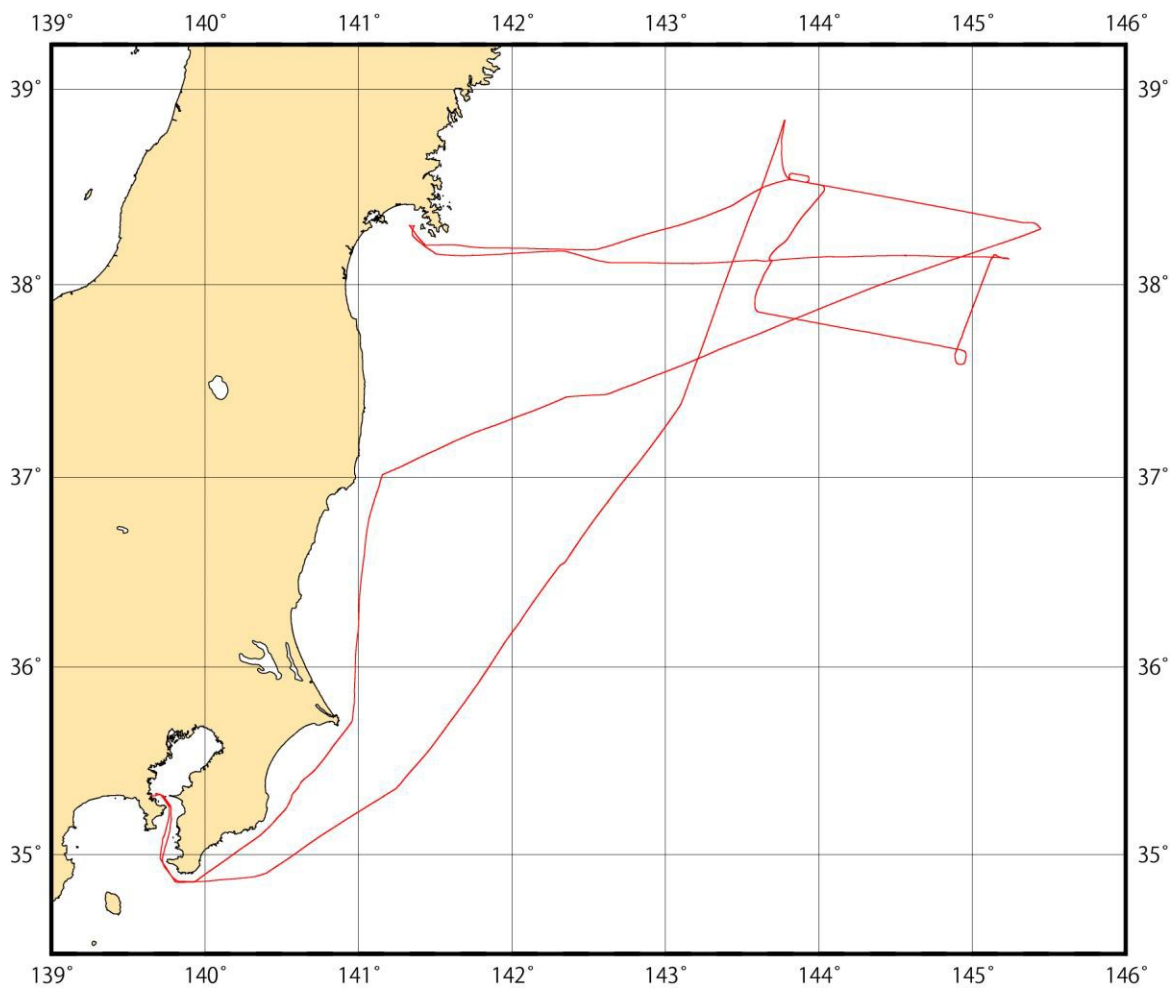
鈴木 啓太・(株)日本海洋事業・観測技術員

奈須 俊勝・(株)日本海洋事業・観測技術員

柴田 英紀・(株)日本海洋事業・観測技術員

土井 晴貴・(株)日本海洋事業・観測技術員

* 航跡・測点図



* 研究活動・観測の詳細や成果等について

1. 反射法探査データ

保管機関： 東京大学 大気海洋研究所 海洋底科学部門 海洋底地球物理学分野

管理責任者： 朴 進午

データの公開：航海終了後2~3年で公開する予定

チャンネル数, エアガン種類 (容量)： 288, GI ガン2基(710 cubic inch)

測線名, 測線位置, 日時：

Line 5 37° 51.030' N, 143° 33.772' E – 37° 39.808' N, 144° 55.291' E,
2020/09/11 10:59 – 2020/09/11 23:31

Line 4 38° 32.365' N, 143° 49.497' E – 38° 19.287' N, 145° 18.991' E,
2020/09/15 07:20 – 2020/09/16 01:00

2. SBP による地層探査

保管機関： 東京大学 大気海洋研究所 海洋底科学部門 海洋底地球物理学分野

管理責任者： 朴 進午

データの公開：航海終了後2~3年で公開する予定。

測点名, 測定場所, 日時：

Line 5 37° 51.030' N, 143° 33.772' E – 37° 39.808' N, 144° 55.291' E,
2020/09/11 10:59 – 2020/09/11 23:31

Line 4 38° 32.365' N, 143° 49.497' E – 38° 19.287' N, 145° 18.991' E,
2020/09/15 07:20 – 2020/09/16 01:00

3. XBT データ

保管機関： 東京大学 大気海洋研究所 海洋底科学部門 海洋底地球物理学分野

管理責任者： 朴 進午

データの公開：データ処理後直ちに JODC に提出し, 航海終了後2~3年で公開する予定。

測点名, 測定場所, 日時：

X117 38° 50.0667' N, 143° 46.3712' E, 2020/09/10 10:20

Notice on Using

This cruise report is a preliminary documentation as of the end of cruise.
This report is not necessarily corrected even if there is any inaccurate description (i.e. taxonomic classifications). This report is subject to be revised without notice. Some data on this report may be raw or unprocessed. If you are going to use or refer the data on this report, it is recommended to ask the Chief Scientist for latest status.
Users of information on this report are requested to submit Publication Report to Cooperative Research Cruise office.

E-mail: kyodoriyo@aori.u-tokyo.ac.jp